

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2006-81711 (P2006-81711A)
 【公開日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-013
 【出願番号】特願 2004-269367 (P2004-269367)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 7 日 (2007.9.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数種の絵柄が周方向に付された複数の周回体を有し、これら周回体を回転させることにより絵柄の変動を行う絵柄変動装置を備え、

該絵柄変動装置よりも遊技機前方に位置する遊技機前面部には、前記周回体に付された絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とするための表示窓を含む表示領域を設けるとともに、該表示領域の下方に前記周回体の回転を停止させるべく押圧操作される複数の停止操作部材が少なくとも配置される操作領域を設けた遊技機において、

前記操作領域を、前記遊技機前面部から前方へ膨出するように構成された膨出部に形成し、

該膨出部上から上方へと起立し左右方向に延びる基台部の前面に前記各停止操作部材を横並びで配設したことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技の進行に伴う管理情報が表示される情報表示部を前記表示領域と前記膨出部との間に配設し、前記基台部を、前記情報表示部と正面視で重なり、且つ同情報表示部の前方斜め上方から当該情報表示部への視界を確保するように当該情報表示部から前方に離間した位置関係に設定したことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技の進行に伴う管理情報が表示される情報表示部を前記表示領域と前記膨出部との間に配設し、前記基台部を、前記情報表示部と正面視で重なるように配置し、さらに同情報表示部の前方斜め上方から当該情報表示部への視界を確保するように基台部の後面を奥側に向けて下方に傾斜した傾斜面にて形成したことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記基台部の上端が前記情報表示部の上端よりも低くなるようにしたことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記基台部の前面を、手前側に向けて下方に傾斜した傾斜面にて形成したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 6】

前記基台部の前面及び後面の上端部を近接させ、さらに該基台部の後面を奥側に向けて下方に傾斜した傾斜面にて形成したことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記基台部を、前記膨出部上面の奥側に設け、該膨出部上面における前記基台部の手前側の部分を平坦面としたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 8】

前記膨出部の上面に設けられ、前記各周回体の回転を開始させるべく押圧操作される始動操作部材を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 に記載の遊技機。